



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第 40 号・2014 年 4 月発行

北加日本語教師会 2014 年の春の例会

Sunday, April 27, 2014

San Francisco State University

在サンフランシスコ
日本国総領事館
総領事挨拶

皆様、今学期も半ばを過ぎてしまいましたが、いかがお過ごしでしょうか。このたびはサンフランシスコ日本国総領事館に新任なさいました渡邊正人総領事より北加日本語教師会にご挨拶状を頂きましたので御紹介申し上げます。(NCJTA 会長：高松信子)

挨拶
渡邊正人総領事

昨年 11 月に在サンフランシスコ総領事として着任しました渡邊正人(わたなべ・まさと)でございます。はじめに、当地における日本語教育の発展及び日本の理解促進のため、日々取り組んでおられる会員の先生方の活動に感謝申し上げます。

私は、外務省勤務において、特に過去 10 年前後は主に日本の国際協力に携わってまいりました。アジア、中東、アフリカ、中南米地域では、現地で働く日本人の実直さや勤勉さに対する賞賛と共に、日本企業が提供する技術や日本製品に対する高い信頼性、そして伝統芸術、日本食、映画・アニメなど様々な分野での日本文化に対する強い関心や憧れを実感してまいりました。そのような地において、日本に関心を示す人々に対する日本語の学習機会を増やすことにより、日本の政治、社会、文化、歴史に対する理解が更に深まり、海外と日本との交流や絆が深まるものと確信します。

カリフォルニア州北部は歴史的に日本との関係が深く、また、アメリカ国内において日本に対する理解と関心がもっとも高い地域の 1 つです。そのような地における日本語教育は、アメリカ国内における日本の理解者を増やすだけではなく、草の根レベルを含む様々な分野におけるアメリカと日本との関係発展にとり、重要な基盤となるものと考えます。

カリフォルニア州における教育機関は昨今財政難に直面し、その中において日本語を含め外国語教育は大きな影響を受けていると承知しております。そのような状況下でも、当館としては、北加日本語教師会をはじめとするカリフォルニア州北部における日本語教育の活性化に尽力する先生方と良くご相談し、連携し合いながら、当地における日本語教育のインパクトが失われることがないように、むしろそれが向上するように知恵を絞ってまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。



会長挨拶



会長挨拶 高松信子

上記、渡邊正人総領事からの暖かいご支援のお言葉を頂き、一念発起して改めて日々邁進したいと感じております。

この冬は温暖化、天候異変により東海岸では豪雪や洪水、カリフォルニアでは水不足に伴う干ばつ等の自然災害が報道される日々でした。ここサンフランシスコでは例年のように3月下旬頃から青空を背景に満開の桜が鑑賞でき、今年もゴールデンゲート公園の日本庭園にて、ひと時日本の春を味わってまいりました。水不足の話は未だ実感が湧かず、他の地域と比べますとここは天候に恵まれている場所だと感謝しております。



さて、この時期、諸先生方の学校では中間試験も終え、学期後半に向けお忙しくしていらっしゃる事と存じます。私も相変わらず慌ただしい毎日で、コンピューターの前にいる時間が以前にも増して長くなってまいりました。そんな折、先日ふと目に入ったのが、「NHK、外来語がわからないとの理由で提訴される」という記事でした。ご存知の方もいらっしゃると思いますが読んでみますと、昨年6月「中日新聞」に投稿された記事でした。以下記事の内容を簡単にご紹介いたします。

「リスク」「ケア」「コンシェルジュ」など、テレビ番組で理解できない外来語が多く使用されていることで精神的苦痛を負ったとして、ある男性がNHKに対し慰謝料を求める訴えを起こしたものです。「若い世代は分かるかもしれないが、年配者には、アスリートとかコンプライアンスとか言われても分からない。外国語の乱用はNHKに限らずいろいろな報道機関に言えることだが、NHKは特に公共性が強く影響力がある。日本文化の在り方をもっと社会に広く考えてほしい」と述べていました。国立国語研究所の「外来語」委員会でもいろいろな調査に基づき、なじみの薄い外来語に対しては言い換えや注釈などの工夫を施した上で使用するようにとの対処がなされています。確かに外来語はこれまで日本になかった事物や思考を表現する言葉として、便利で日本語をより豊かにする面がありますが、多用すると意思の伝達の障害となる面も出てきます。アメリカでの生活はカタカナ語には慣れていて理解しやすいはずですが、日本の新聞やサイトで、時々えっと首をかしげることがあります。いわゆる新語導入によりコミュニケーション不調、意思の伝達がスムーズに行われないわけです。

最近の経験の中で言葉によるコミュニケーション不調の例をもう一つご紹介致します。先日、日米会主催の中高生のスピーチコンテスト、小学生の「お話大会」に参りました。皆さん日頃の学習成果を思う存分発揮し、素晴らしいスピーチを聞くことができました。その時のスピーチの一つですが、コンピューターゲームの話がありました。生憎、審査員の我々はだれもそのゲームについて知りませんでした。どのようなゲームか知っていて説明を聞くのと、全く知らずに説明を聞くのとでは大違いです。コンピューターゲームのため、カタカナ語も使われ内容が通じない場面がありました。この場合、発表者にとっては日本語は外国語であるため言語能力の問題なのか、それとも我々視聴者側のゲームに対する知識不足のためなのか、判断に困りました。上記男性の場合と多少原因が異なりますが、これもまさしくコミュニケーション不調が起きたのです。

我々は言葉を一つの手段として使い、お互いに意思の疎通を図っているわけですが、意思伝達のためには言葉のみならず様々な条件、要素が加味されます。同じ内容の話をするにしても、大人に話す時と子どもに話す時とでは、使う単語、声の調子や文の長さ等が変わってきて当然です。しかし、言葉自体が理解できなければ当然意思伝達が思うように行われません。昨今のカタカナ語の氾濫、メディアがやたらにかっこいいと思って使うメディア系カタカナ用語、またコンピューター、オンライン、ゲームなどが

組み合わせられて作り出されているハイテク+オタク系カタカナ用語、ポップカルチャーに関係する本に使用されているカタカナ用語は辞書には未だ載っていない言葉が多くあります。グーグル検索で巡り巡った末にようやく意味の分かる場合が多々あります。ご存知のように、開国後、明治期に西洋由来の言葉や概念が雪崩込んできた時は、知識人が、カタカナを避け、漢字を使ってそれらの言葉や概念を翻訳し、和製漢語を作り上げました。今回も、日本の伝統文化の在り方を考え、極力カタカナ語を避けるべきなのでしょうか。

また我々のように日本語を外国語として教える場合、これらの氾濫するカタカナ語にはどのように対処すればの良いのでしょうか。例えば問題になった言葉「コンプライアンス」は最近では広く会社関係で使われていて、通常「法令遵守」のように訳されます。英語圏の学生には「コンプライアンス」の方が分かりやすく覚えやすいはずですが。ここで従来の難解な日本語「法令遵守」を紹介すべきなのでしょうか。年々多くなるカタカナ用語をどの程度使い、教えれば良いのか、最近ふと疑問に思っていることを述べてみました。

さて、それでは皆様方に春の例会のご案内を申し上げます。昨年春には「日本のポップカルチャーを日本語教育でどのように生かすべきか」というテーマでのワークショップを行いました。また一昨年は「日本語教育とテクノロジー（パワーポイントを中心）」として色々なレッスンのご紹介を致しました。そこで今回はコンピューター利用レッスンの紹介だけではなく、実際に皆様方に参加して、作って頂くプログラムを準備致しました。午前中に役に立ついろいろなアプリケーションをご紹介して、午後はその中から興味のあるアプリケーションを利用し、何か役に立つ教材を作っていただくような企画です。当日は各レベルに分かれてグループとなり、お互い協力しながら、また分からないことを教えて頂ける先生方と共に教材作りをすることになります。Mac Lab や PC Lab もお使い頂けますが、ご自分の laptop をご持参なさっても結構です。きっと役に立ち、有意義な一日となることと確信致します。皆様、是非ご参加くださいますようお願いしております。

プログラムの詳細に関しましては下記をご覧ください。それでは当日皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

NCJTA 2014 春の例会



北加日本語教師春の例会 NCJTA Spring Conference

『日本語教育テクノロジー紹介／体験ワークショップ』

NCJTA Spring Conference

4月27日(日)@サンフランシスコ州立大学

今回は CAJLT (California Association of Japanese Language Teachers) の先生方のご協力のもとに、日本語のクラスに役に立つテクノロジーの紹介とハンズオンのワークショップを開催いたします。

- 日時：4月27日（日曜日）午前9時より午後3時15分まで
- 場所：サンフランシスコ州立大学（HUM Building 108 & 109）
- テーマ：「テクノロジー紹介／体験ワークショップ」
- プログラム：
 - ❖ 9:00AM- 9:30 AM—レジストレーション
 - ❖ 9:30AM- 9:50 AM—挨拶／スケジュール（*全グループ）
 - ❖ 9:50AM-10:20 AM—例会で使用するアプリの紹介（全グループ）
 - ❖ 10:20AM-10:30 AM—各部屋へ移動／準備（グループ別）
 - ❖ 10:30AM-11:30 AM—グループ別ワークショップ①（アプリの紹介、練習）
 - ❖ 11:30AM-12:20 PM—懇親の時間（お弁当の配布）
 - ❖ 12:20PM- 2:20 PM—グループ別ワークショップ②（プロジェクト／サンプル作成）

- ❖ 2:20PM- 2:30 PM—教室へ移動（全グループ）
- ❖ 2:30PM- 3:00 PM—各レベルの発表（10分ごと）
- ❖ 3:00PM- 3:15 PM—アナウンスメント／挨拶

*三つのグループ（参加申し込み用紙にグループ選択項目があります。）

グループ1

対象者：ほとんど初心者の方。メールをチェックしたり、ネットで検索はできてもクラスでコンピューターを使った事がないという方。

コンピューター：コンピューターラボのものを使用。（自分のラップトップを使いたい方はそれも可能。）

担当：IXL Learning (Digital Book Editor) の大中道雅子先生

グループ2

対象者：パワーポイント / ワード / YouTubeなどのソフトやサイトをクラス教材作成やクラス活動に使ったことはあるが、もっとテクノロジーを導入したい方。

コンピューター：コンピューターラボのものを使用。（自分のラップトップを使いたい方はそれも可能。）

担当：ロスガトス高校のマクダニエルかおり先生

グループ3

対象者：テクノロジーは使うが、Blended Learningとして効果的にいろんなテクノロジーを積極的にクラスに導入したい方。

コンピューター：グループ3参加ご希望の方はラップトップをご持参ください。

担当：ジョージ・ワシントン高校の森川知計先生

毎回好評の和食弁当をいただきながら、ネットワークを広げる懇談タイムもお楽しみください。会員の方の「お茶付お弁当」は無料になりますが、お弁当用意の都合上、4月17日必着の参加申し込みが必要です。前春季例会同様に、会員が非会員一名を同伴いただけます。同伴なさる非会員の方で「お茶付お弁当」をご希望の方は、会員の方が併せてお申し込みくださればご用意いたします。その場合は、「お茶付お弁当」代実費15ドルをお支払いいただくことになります。みなさまお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

- ❖ 申し込み締め切り：4月17日（木曜日）
- ❖ 申し込み用紙：添付の用紙をご使用ください。添付申し込み用紙に、ご希望のお弁当（お茶付）を明記して、4月17日必着でお申し込みください。同伴の非会員のお弁当（お茶付）も、併記してお申し込みください。

NCJTA 例会登録につきましては下記の「NCJTA 会計から」の欄をご参照ください

NCJTA 会計から



NCJTA 会計から

NCJTA の会費は一般15ドル、学生5ドルです。2014年度分の会費（2014年1月から12月まで有効）を未納の方は本ニュースレターに添付の会員申込書あるいは春の例会申込書とともにご郵送くださるか、例会の当日お支払いください。昨年までの会費が未納の方も、今年のみ会費で結構です。

尚、春の例会では事前に申し込んで頂いた方に、「お茶付お弁当」を無料でお配りいたします。添付の例会申し込み用紙を高坂までお送りください。例会の事前申し込みの締め切りは4月17日、木曜日（必着）です。皆様のご参加をお待ちしております。（文責：高坂）

チェック支払先：	NCJTA
チェック送付先：	Seiko Kosaka c/o Nobuko Takamatsu City College of San Francisco 50 Phelan Avenue A108 San Francisco, CA 94112
事前登録締め切り：	4月17日（木）（必着）

NCJTA 2014 春の役員会報告



2014 年 春の役員会報告

日時：2014 年 1 月 26 日（日曜日）午後 12 時～3 時

場所：4406 Dwinelle Hall, UC Berkeley

出席者：マクダニエルかおり先生（CAJLT 会長）、高松、グラント、高坂、須田、
オブライアン、森岡、田中、真木、神原、南（役員名簿順）、伊藤（記）

- ニュースレター担当、Yahoo! Group メール、テクノロジー関係のポジションについて
- 春のニュースレターについて
- 春の例会について

会場：サンフランシスコ州立大学

日時：4 月 27 日（日）午前 10 時から午後 3 時まで

テクノロジーに精通した高校の先生方に講師をお願いし、テクノロジーのワークショップを開催する。

予定スケジュール（実際のスケジュールと多少異なる結果になりました。）

- 10:00 A.M. - 11:00 A.M.
クラスで役に立つアプリケーションの全体的な紹介をする。
- 11:00 A.M. - 12:00 P.M.
レベル別（beginner/intermediate/advanced）に分かれて、アプリケーションを紹介する。
- 12:00 P.M. - 1:00 P.M.
懇親の時間（お弁当配布）
- 1:00 P.M. - 3:00 P.M.
レベル別に分かれて、ラボで実際にアプリケーションを使い、教材を作ってみる。

- マクダニエル先生からのご依頼

グループ間の情報交換を通じてカリフォルニア州内のコミュニケーションを円滑にするために、年に一度、カリフォルニア各地の代表が集まるスカイプによるミーティングを行う。（第一回ネットミーティングは参加者の都合により 5 月 18 日 10 時からに決定する。）

（文責：伊藤）

NCJTA 秋の例会報告



2013 年 NCJTA 秋の例会報告

NCJTA 秋の例会は 10 月 26 日（土）午後 3 時から 3 時 45 分まで Chabot College で開催されました。例会では、カリフォルニア大学バークレー校の柴原千佳先生が「映画を取り入れた授業の試み」と題して発表して下さいました。

まず最初に、なぜ映画を使うのか、映画をカリキュラムに取り入れることによってどんな能力を開発することが出来るのか説明して下さいました。教科書では真の意味でのコンテキストは作れませんが、映画は登場人物についての知識をもとに登場人物の個人的な視点から観ることが出来ます。そして、言語運用能力、コミュニケーション能力、文化能力だけではなく、よりよいコミュニケーションを可能にするためにそれぞれのコンテキストの中で相手の個人的立場を理解しながら相手に伝えることが出来る能力（symbolic competence）も開発することが出来るという事をお話して下さいました。

発表では、実際に「四月物語」を使って、アパートでの一人暮らし（主人公の不安と期待がいりまじった気持ちの描写）、町の風景／人々（桜の季節／家並み／タクシーの運転手、花嫁、ジャージ姿の高校生、ランドセル姿の小学生など）、入学式（正装、学長の祝辞、校歌斉唱などの学校文化）、自己紹介（自己紹介をして質問を受けている大学生達と性格描写）、新しい友達との会話の場面（相手との距離感、相手が何をしようとしているか、自分がどうしたらいいかに集中して新しい場面の会話を考える）など、映画のクリップを見せながら、どんなタスクが出来るのか、分かりやすく紹介して下さいました。



物語の内容とあまり関係のない生活の断片や普遍性を持つ場面は、映画全編を見せずにクリップのみを使い、ストーリーや登場人物の発展が関係する内容や物語全体がテーマになる時は全編を見せてからクリップを使うそうです。映画の一部を観る時はテーマに関連する一部を取り上げ、深く考えたり、自分も映画の中に入って行って色々なことを体験したり、映画に新しいシーンを作ってみたり、登場人物の気持ちになって手紙や日記を書いたり、音を消して（一人称／三人称主語）のナレーションを作ってみたり、心の中の声をツイッターにしたり、違う登場人物の視点から物語を再構築してみたりするそうです。

また、クリップから映画全編へは、タイトルからストーリーを予想したり、最初の部分を観てストーリーを予想したりするそうです。しかし、その際、映画としての芸術性が失われないように注意することが必要だということでした。

以上、クリップだけを使うのか、映画全編の中で重要なシーンのクリップを取り上げるのかを考え、受動的ではなく能動的に映画を観る（タスクを通じて自分も映画の中に入って行き、色々なことを体験する）ことによって、創造力と想像力を培い、異文化への寛容性を持ち、よりよいコミュニケーションを目指す。授業への映画の取り入れ方を詳しく教えていただき、大変興味深い発表でした。（文責：伊藤）

領事館インフォメーションセンターから

2015 Japanese Government (MEXT) Student Scholarships

The Japanese Government Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) sponsors full annual scholarship from countries all over the world to advance their studies at universities in Japan.

- (1) The Graduate Research Student Scholarship is open to U.S students who wish to study at Japanese universities as either graduate or research students for the 2015 academic year.
- (2) The Undergraduate Student Scholarship is open to U.S high school graduates who have completed 12 years of schooling and are between 17 to 21 years of age.

Application information for the two scholarships will be available on our website in April at: http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/en/e_m05_01_02.htm Please contact the Senior Education Coordinator at: steven.goldman@sr.mofa.go.jp for more information.

第 29 期 JET プログラムについて

第 29 期 JET プログラムの応募に関する情報は 2014 年の 10 月頃よりオンラインにて入手可能になる予定です。応募に関する情報等は、在米日本国大使館ホームページ（<http://www.us.emb-japan.go.jp/JET/>）をご参照下さい。なお、当館のホームページにも JET プログラム募集広報や JET プログラムに関する情報を掲載しておりますのでご参照下さい（<http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/jet/index.htm>）。当館スタッフによる JET プログラムに関する説明会をご希望の方は、JET コーディネーター（jet@sr.mofa.go.jp）までご連絡下さい。

文化関係イベントのご案内

在サンフランシスコ日本国総領事館は、毎年 11 月に日本語弁論大会（中学生・高校生・大学生・成人対象）、3 月に小学生日本語お話大会及び学生向け茶道教室を、当地で日本語を勉強されている、ないし日本に関心を持っている学生等を対象とする文化事業を実施しています。詳細については、当館ホームページやフェイスブック、日本語教師の皆様向けのメーリング・リストを通じてご案内させていただきますのでそちらをご確認ください。

『言葉の窓』



当地では、2014年も多くの日本文化関連大規模イベントの開催が以下の通り予定されています（3月1日時点で当館で承知しているイベント）。どのイベントも、当地の日本語を学ぶ学生の皆さんにとって、様々な日本文化を学び・体験する良い機会だと思いますので、学生の皆さんにも紹介して頂ければ幸いです。詳細については、各イベントのホームページをご確認ください。

4月12、13、19、20日 北加桜祭り（於：サンフランシスコ日本町）

4月26、27日 クパティエノ桜祭り（於：クパティエノ・メモリアル・パーク）（日本語スピーチコンテストも開催予定）

5月18日 箱根祭り（於：サラトガ市箱根ガーデン）

5月24日 ソノマ郡日本文化祭り（於：ソノマ市内）

7月19、20日 J-POP サミット・フェスティバル（於：サンフランシスコ日本町等）

8月22、23、24日 JAPAN EXPO（於：サンマテオ市内の予定）

また、当館ホームページやフェイスブックでも日本関連イベントをご紹介しておりますのでそちらもご確認ください。

「花とは」

蔵重伸

池坊アメリカ事務所 所長

花を美しいと思うのは人間だけの特権であると言われてるが、ミツバチや蝶々や鳥から見た花はどのように映るのであろうか。良く分からないが、これは理屈ではなく直感なのかもしれない。文句なしに美しいと思うとき。花を生けようとする気持ちが生まれる。かざしの花も一緒ではないかと思う。日本には四季があり、われわれの祖先が、日本の自然を賛美し、その時々の花を読み込んだ歌や芸術作品が残っている。



「見渡せば柳さくらをこきまぜて

みやこぞ春の錦なりけり」

素性法師『古今集』

日本は南北に長い島国で、火山がいたるところに有り、急流の川や湖が多い。高山や平野も様々で狭い国土の中で気候も地形も種々様々である。しかし、春夏秋冬という四季はそれぞれの地にある。この点で多種多様な自然で有りながら共通性を持つ日本人の自然観があるのであろう。見渡してみる春の景色は桜だけではない、柳の緑も一緒に見るからこそ、錦の様である、とは素晴らしい表現である。それぞれの植物の特性を生かし、補い合って、それが織り成す錦である。

7世後半から8世紀後半、奈良時代に編まれた万葉集には、約4500首有り、植物が色々登場するが、その中で梅は、118首読まれて、桜に関しては44種であった。この時代、和歌などで、花といえば梅をさしていた。天皇の私邸、内裏の正殿紫宸殿の南階の左右は左近の桜、右近の橘であるが、もともとは桜でなく梅であった。天徳4年（960年）に内裏炎上の折に桜に植え替えられ、かくして、この頃から花といえば桜にかわったのである。平安時代には徐々に桜の人气が高まり、花といえば桜をさすようになった。

「喜びにつけ悲しむにつけ、花はわれわれの不断の友である。われわれは花と共に食べ、飲み、謡い、踊り、恋にたわむれる。花を飾って結婚式を挙げ、洗礼式を行う。花がなくては死ぬことも出来ない。われわれは、百合の花と共に礼拝し、蓮の花と共に黙想に耽り、バラと菊をつけて陣立てを整えて突撃した。われわれは花言葉で話すことを企てた。どうして花がなくて生きられようか。花のない世の中を思っただけでも恐ろしくなる。花は病む者の病床にどれほどの慰謝をもたらすことだろう。疲れた靈魂の闇にどれだけの

至福の光をもたらすことだろう。花の透明な優しさは——」と岡倉点心の『茶の本』は花の有効性、価値観を述べている。

では「日本人にとって花とは何であろうか」を考えてみよう。広辞苑は以下のように記している。

1. 種子植物の有性生殖にかかわる機関の総称
2. 特に梅、桜の花
3. 仏に供えるしきみなどの枝葉
4. 美しいこと、盛りであること
5. 物の先端部、物事の始り

1、2は納得である。3のしきみなどの木、竹、枝葉も花として見なしていることがわかる。3は神事や仏事に用いられる花葉は本物、あるいは造花も使われている。4は「あの人は花の様だ」、あるいは「あの人には花がある」、あるいは「あの人は花がある」「あの人に花をもたす」、「男の花道」、というように使うことも多くある。「花の都」、「今が人生の花」、「時の花をかざす」、と言う時にも使われる。5は「はなから（はじめから）分っていた」というように使っている。時には踊りの発表会があるのでお花（祝儀）を差し上げようという時にも使う。フレッシュ花のプレゼントはもちろんのことである。特色として、次のようなことが言える。

1. 日本人は花に霊力、神性を感じた
2. 木、草、石にも神性を感じた
3. 花文化の創造、彫刻、陶芸、織物、彫金などで文様花（花嫁、花道等）

上代人にとっては花が散っていくことは望ましいことではなかったのであろう。竜田川の風神祭りのように神社に祈願して花が散らないように願い、花鎮めの祭りをしたようである。やすらいまつり（花鎮めの祭り）は京都、紫野の今宮神社で行われ、花を飾った赤い風流傘の中に入ると危機から逃れられると信じられている。奈良県では卒川神社（いさかわ）神社の三枝（さえぐさ）祭りがある。巫女が百合の花をかざし、舞を舞う。神性や霊力がある花や葉を頭に挿すことで、それが人体に感合して人が霊力に恵まれると感じたのである。依代としての花は日本的なアニミズムがその背景にあって、常緑のときわなる木の枝や春の花が用いられた。影響の松としての門松は代表的なもので、年神様に自分の位置を示すものである。

能楽では松竹梅の松に影響の神が宿るとして舞台の正面に大きい松を描いている。この松に神が宿り、その神に芸を奉納し、無病息災、五穀豊穡を祈願したといわれる。

池坊の花形に自由花、生花、立花とあるが、立花では松や杉や竹や檜が日本的な広義な意味で、花になりえたと思うのである。これも日本人が花だけでなく、木や竹もひっくるめての花は人の力を超越した霊力、その神秘なる力の表象としての美を花と感じる美意識によるものである。いけばなで、花のない芭蕉の葉のみで生けた生花、あるいは葉蘭のみで生けた生花を「花」と見るのも秋の美しい紅葉の色を生けるのもこの類である。池坊で秘伝と言われ、ノーベル文化賞を受賞した川端康成氏が「美しい日本のわたし」の中で述べている『専応口伝』（天文6年、1537年）の芸術論が生まれたのもこのような自然の美意識と感覚との結合からである。『専応口伝』には、ただ花の美しさを楽しむと言うだけにとどまらないで、それを超えて、「花・いけばな」を通じて、求道 of 精神を続け、修練を重ねて美意識を高める花論がのべてある。下の引用は『専応口伝』からである。

「そもそも、是をもてあそぶ人、草木を見て心をのべ、春秋のあはれをおもひ、一旦の興をもよおすのみならず、飛花落葉の風のまえにかゝるさとの種をうることもやはべらん」

また『専応口伝』は「小水尺樹をもって江山勝概をあらわし——」と述べ、一瓶の内に大自然の景観を象徴化することによって理想の世界を示視していくのが立花だとしている。

日本語教育関係 関連ニュース



又その世界は宇宙そのもので、神や仏に通じる道であり、そうした宇宙観・人生観・哲学・思想が花である立花を意義付け、支え能楽の大成者の世阿弥（1363年－1443年）は『風姿花伝』の中で様々な「花」を論じている。

「花なくば おもしろき所あるまじき——」

「秘する花を知ること。この分け目を知ること。これ肝要の花なり」

「真（まこと）の花は、咲く道理も、散る道理も、

心のままなるべし。されば久しかるべし」『風姿花伝』

このように、実際の花も花であるが、能のように人自身が花であったり、その人の行為が花であったり、言葉が美しく花であったり、差し上げるものの代表言葉が「花」と言う代名詞であったり、結論として、花でないものまでが、その美しさや感動の余り「花」として受け取られてきたのである。花の姿はまことに多彩である。花は見る人、味わう人の心次第でそれに応じた様々な姿がみえ表現できる。一瓶のいけばなに自分の思いを花の姿をかりて映し出す、言葉に出来ない心の内を生けることができる。真の花とは、何であろうか。「自分の花」、そして、「時分の花」を自分なりに生け、明日の希望をつばみに託して生きていきたいと思うのである。

日本語教育関連ニュース

サンフランシスコ州立大学 第二回 国際『お茶三昧』会議 開催

2013年 11月 15、16日

次回、2016年春開催予定



日本語と日本文化を学ぶ大学生、日米両国の研究者とお茶人が一同に会した「お茶三昧」

昨年 11月 15、16日、サンフランシスコ州立大学において、サンフランシスコ大学の協力のもと、北加日本語教師会も協賛し、「お茶三昧」茶の湯と茶文化に関するサンフランシスコ 国際会議（San Francisco International Conference on Chanoyu and Tea Cultures）が開催されました。日米両国の研究者をはじめ、日本語と日本文化を学ぶ大学生、お茶人など、200人を 超える参加者が、茶の湯と茶文化をテーマに学び、交流を深めました。

二つの特別講演「京焼陶工仁清と茶の湯」（大手前大学 岡佳子教授）と「唐宗の茶文化」（東京学芸大学 高橋忠彦教授）のほか、「戦国時代におけるヨーロッパ人の『茶の湯』との 最初の出会い」（サンフランシスコ大学環太平洋研究センター アントニ・ウセレル リサー チディレクター）は、パチカン法王庁図書館所蔵の文献研究に基づき、イエズス会宣教師にとっていかに茶の湯の理解が不可欠だったかを発表されました。「唐物茶壺『千種』について」（国立スミソニアン協会 ルイズ・コート学芸員）、「茶の湯の釜の煮え音」（高野山大学 岡本文音客員教授）など、興味深い発表が日英両語で行われ、満場の聴衆が耳を傾けました。

参加者のコメント

- 「初めて学会に参加し、日本文化に興味を持つ人の多さにおどろいた」（ソフィア・クオン、サンフランシスコ州大2年生）

➤ 「学術的でありながら、わかりやすかった。茶道具に秘められた美を学ぶことが出来た」(ケリー・ニ、サンフランシスコ州大4年生)

また、茶の湯の心を味わってもらおうと、参加者全員に、表千家と裏千家のお茶人有志の協力による点て出しの抹茶と和菓子が振る舞われ、たいへん好評でした。

会議を主催したマッキオンみどりサンフランシスコ州立大学教授のコメント「皆様のご協力の御蔭で第二回お茶三昧は前回以上の盛会でした。心より御礼申し上げます。次回は、2016年春に開催予定です。」(文責：清水)

ヘンリー・ガン高校で日本語を学んだJポップスター誕生

昨年春の例会で、パロアルトのヘンリー・ガン高校の疋田由起江先生が発表の最初に、「教え子が日本で歌手としてデビューします」と話されたのを覚えていらっしゃる方も多いと思います。そのクリス・ハートさんは、いまや、「世界一Jポップがうまい」と押しも押されぬ人気歌手になりました。昨年5月1日のデビュー以来、天性の歌唱力と豊かな日本語表現力が評判で、年末の国民的行事であるNHK紅白歌合戦に松田聖子とデュエットで出演を果たしました。今年3月19日には初めてのオリジナルアルバム「Song for You」も発売されました。



ハートさんは、インタビューなどで、歌手になりたいという子供の頃からの夢を叶えることができたのは、日本語を学んだこと、ひいては、日本の御蔭だと述べています。3年前の東日本大震災当時、日本にいたハートさんは、「何かできないか、力になりたい」と考えたと言います。ハートさんの歌う「幸せをみつけれられるように」は、ソフトバンクの東日本大震災復興支援のテーマソングに選ばれました。

(文責：清水)

疋田先生のコメント

クリス君は、とても静かな生徒さんでした。語学の才能が目立って優秀だったという記憶はないのですが、お行儀がよくて「きちんと躰されているお子さんだ」という印象を強く持ちました。昨年デビューの報告に、クラスを訪問してくれました。「成功の秘訣は？」と生徒が聞くと、「才能のある人は、たくさんいる。だから、才能プラス、何かが必要。きちんと人間関係を持てる人になること」と話してくれました。そして「夢を捨てない事」とも。自分で作った曲を歌いたいとも言っていました。心から、応援したいと思っています。彼が有名になったからというより、どんな生徒でも、「あー、高校の時日本語をとって、ちょっと救われたなあ」と言う感じで、覚えていてくれたら嬉しいです。そして、大人になって、人間的に素敵に成長して、会いに来てくれたら嬉しいです。「あつ、昔、植えた種が、こんな木にそだってたんだ！」って、感じです。

東京大学国際高等研究所 カブリ数物連帯宇宙研究機構

国際交流課の日本語クラス

東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli Institute for the Physics and Mathematics of the Universe)の国際交流係では世界中からやって来る数学者、物理学者、天文学者に日本語のクラスを提供しています。そのカブリIPMU日本語クラスの皆さんに出演してもらって、国際交流係が外国からの教員、研究者、学生のために地震等の緊急時の安全対策などを含む全般的な安全教育の「E-Learningシステム」ビデオを作成したところ、そのビデオが2013年度の東大業務改革総長賞を受賞したそうです。そこで、東大総長賞受賞ビデオの出演者の多数が日本語を勉強しているというカブリIPMUのユニークな日本語クラスを紹介します。

日本語講師は西川正美先生。生徒さんは世界各国からの国際色豊かな研究者や著名な教授で、日本での毎日の生活に密着した楽しい日本語のレッスンを大変喜んでいるそうです。なかでも一番印象的なのは初級クラス終了後や一般公開で行う日本語劇出演とのこと。西川先生の学生のDr. Zoltan Kunszt (Professor, Institute for Theoretical Physics, ETH Zurich) と Dr. Alexander Kusenko (Professor, UCLA and Senior Scientist, Kavli IPMU) は共著で「Japanese Lessons at IPMU: A Success Story」というエッセイを書いています。日本語劇出演が日本語や日本文化への最初のすばらしいステップだと絶賛しています。
<http://www.ipmu.jp/ja/node/862>



Photo: Kavli IPMU

劇を日本語のクラスに取り入れ始めてから6年、内容は日本の昔話を題材に扱ったものが多いそうで、今まで「竜馬伝」「桃太郎」「浦島太郎」などを手がけたそうです。
<http://www.ipmu.jp/ja/node/1015>

台本はすべて西川先生のオリジナルで、台詞には数学用語や物理用語など生徒達の”useful vocabulary”も入れているとのこと。また、今の流行語も取り入れて笑いのある楽しい劇にしているそうです。西川正美先生（下の写真一番左）は以前ベイエアリアで日本語を教えておられました。（文責：須田）

サンフランシスコ大学で英語落語

3月18日、サンフランシスコ大学において、大阪在住の英国人落語家、ダイアン吉日（きちじつ）さんが英語落語を披露し、日本語や日本文学を学ぶ学生などが江戸時代から続く娯楽芸術を堪能した。サンフランシスコ大学日本研究プログラムとサンフランシスコ日本総領事館インフォメーションセンターの共催。ダイアンさんは、手ぬぐいや扇子をつか



ったジェスチャーのワークショップを行ったあと、創作英語落語「ワンダフル ジャパン」で、外国人から見た日本社会を見事に表現し、会場に笑いを巻き起こした。学生たちは「すばらしい日本の伝統を初めて体験した」「鮮やかな想像を膨らませて楽しむことができた」「外国人で、女性なのに、落語で成功したのはすごい」と感想を述べた。ダイアン吉日さんは、ジョージワシントン高校やジャパソサエティーでも落語を披露した。

（文責：清水）

先生の紹介欄



先生の紹介欄

ニッカーボッカー紀子先生

- お名前を教えてください。
ニッカーボッカー紀子と申します。
- 教えている学校名、町を教えてください。
今学期はUCバークレーで、1st Year Japaneseと5th Year Japanese の二つのコースを教えております。
- 日本語教師はいつから？
途中ブランクもありましたが、アメリカで20年近く教えております。



➤ 日本語教師はいつから？

途中ブランクもありましたが、アメリカで20年近く教えております。

➤ ご趣味は？

「趣味を始めるのが趣味」とでも言えばいいのでしょうか。本当に色々なことに手を出しました。その中には数ヶ月でやめてしまったものもあれば、数年間続けたものもあります。最近ではその「趣味を始める趣味」からも遠ざかっているありさまで。ただ、趣味と言えるかどうかは分かりませんが、物心ついた時からずっと、物理的にであれ精神的にであれ、片時も私のそばから離れないでいてくれるのが「活字」と「動物」です。堂々と「趣味は読書です」言うには躊躇いがあります。実は「本」というよりも「活字」であれば何でもいいからなのです。恥ずかしながら家では手の届く範囲どこにでも雑誌（ゴシップ記事の雑誌でも何でも）、広告、パンフレット、カタログ、そして本が「転がって」います。ソファに座れば、まず「活字」を手取る。ベッドに入れば、まず「活字」を手取る。トイレに……あ、ここは省きます。ボーッとしている時でも目は「活字」を追っています。というよりも眺めているわけです。「動物」の方も物心ついた時から一緒にでした。動物（哺乳類）なら何でもOKですが、やはり一般的な犬猫がぎゅっと抱きしめられるぶん、常にそばに「転がして」おきたいバディです。

➤ 日本の出身地は？

東京のはずれ、八王子市の出身です。

➤ アメリカに来てから何年ですか。

20年以上経ちました。

➤ 仕事について、何か一言お願いします。

ありきたりな言葉であり、理想でもあります。「学生一人一人の個性を尊重して関わっていく」でしょうか。自分の求める、または好みの鑄型に学生を押し込めて、彼らを判断しないということです。これは仕事だけでなく私の人間関係の基盤ともなっています。

➤ 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

「スチュワーデス物語（オリジナル）」の流行った時代、親友に「ノッコって、ちょっとのろまのカメっぽいね」と言われました。「天然」という言葉の定義が広がってからは…お察しのとおりです。今後、私と個人的に関わるようなことがあった場合は、どうか笑ってお友達になって下さいませ。

宗田 昭子先生

➤ お名前を教えてください。

宗田 昭子（そうだ あきこ）

➤ 教えている学校名、町を教えてください。

サンフランシスコ空港の近く、ミルブレイ市にあるミルズ高校（公立高校）で日本語を教えています。2年前から、日本語のほかに学校のテクノロジーコーディネータもしています。



➤ 日本語教師はいつから？

1997年から同じサンマテオ学区のアラゴン高校で日本語教え始めました。

➤ ご趣味は？

体を動かすことが好きです。学生のころはずっと泳いでいました。今は、時間がなくてあまりできませんが、以前は下手ですがゴルフをしていました。いつも狭い教室にいるのでグリーンで（といってもコースの外にいることが多いのですが）ボールを追いかけるのはとても気持ちがいいです。ズンバも好きなのですが、なかなか”盆踊り”の域を出ないです。今、生徒達と学校のインターナショナルフェスティバルに向けて「よさこいソーラ

ン」(金八先生、懐かしいですね)を練習しています。あとは、犬が3匹いるので、犬達と散歩するのが日課になっています。

➤ 日本の出身地は？

高校を卒業するまで大阪の吹田市に住んでいました。吹田市は大阪の北に位置して「万博のあった町です」と答えていたのですが、太陽の塔や万博はもう歴史の教科書で知っているだけという人の方が多くなってしまいました。大学から東下り(上京とも言いますが)して神奈川に住んでいました。

➤ アメリカに来てから何年ですか。

1989年にロスアンジェルスに主人の赴任で着いてからもう25年になります。

➤ 仕事について、何か一言お願いします。

楽しいですが、大変ですね。日本語プログラムを維持するためには、いつもプラスアルファが求められているような気がします。特に今年はCCSS(Common Core State Standards)の導入もあり、授業をもっとプロジェクト中心に作り直しています。私は、現在、テクノロジーコーディネータをしていることもあって、テクノロジーをたくさん授業にとり入れています。学校が2年前からGoogle Apps For Educationとなり、生徒達もGoogleのアカウントを持っていますので、最近では生徒達の作文の提出もオンラインで、また、生徒達にはdigital portfolioを作らせています。そして、2年前から、反転授業(Flipped Instruction)もしています。事前に語彙や文法の説明をGoogle Presentationやビデオにして私のウェブサイトに掲載してあるので、日本語の授業へ来る前に生徒達は学習してきて、授業ではこまかい説明をせずにいきなり練習やアクティビティをしています。これは、生徒達も自分たちのペースで授業ができるので、なかなか評判がいいです。また、教室外でもミルブレイ市での日本文化祭を計画したり、桜祭りには生徒達のボランティアを送ったり色々工夫をしています。また、今年は「かけはしプロジェクト」に選ばれて、3月の下旬には日本の高校生がホームステイをしました。そして、7月にはミルズ高校生も日本訪問をしますもので、生徒達は興奮しています。

➤ 会員みなさんへのメッセージがあればどうぞ

履修している生徒数も少なく日本語プログラムは大きくないので孤軍奮闘されている先生方が多いと思います。NCJTAをはじめとしてCAJLT、AATJ、APコミュニティなど、みなさんといっしょにがんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記



北加日本語 教師会連絡先



「春眠暁を覚えず」の学生時代がなつかしいこの頃ですが、春のニュースレターの時期になりました。今回でいよいよ「40号」になります。幸いにも渡邊正人サンフランシスコ総領事からご挨拶を頂くことができました。また、池坊の蔵重伸先生の「花」についてのエッセイを掲載することができ、「春の号」らしく華やかになりました。皆様も、ご意見、ご感想、ニュースなどございましたら、どうぞ係りまでご寄稿くださいますようお願い申し上げます。

須田：sudak@usfca.ecu

清水：masakoshimizu@sbcglobal.net

NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.org/>

NCJTA. c/o Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco

50 Phelan Avenue, A108

San Francisco, CA 94112

(415) 812-4777

E-mail: nobukot@sbcglobal.net

<役員>

会長: Nobuko Takamatsu 高松信子(同上)

副会長: Fumiko Grant グラント文子
City College of San Francisco
E-mail: fgrant@ccsf.edu

書記: Junko Ito 伊藤潤子
University of California, Davis
E-mail: jito@ucdavis.edu

会計: Seiko Kosaka 高坂聖子
City College of San Francisco
E-mail: seikogon@gmail.com

ニュースレター編集: Kyoko Suda 須田恭子
University of San Francisco
E-mail: sudak@usfca.edu

広報: Masako Shimizu O'Bryan 清水オブライアン真佐子
E-mail: masakoshimizu@sbcdglobal.net

フランク連絡員: Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu

<各レベル代表>

小学校代表: Takeko Morioka 森岡妙子
Rosa Parks JBBP Elementary School
E-mail: taeko3568@aol.com

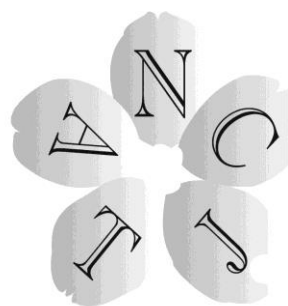
中学校代表: Rie Tanaka 田中理恵
Presidio Middle School
Email: rietanaka@gmail.com

高校代表: Tomokazu Morikawa 森川知計
George Washington High School
E-mail: tomokazu28@gmail.com

学園代表: Minakao Maki 真木 実奈子
San Mateo Nippon Gakuyen
E-mail: minakomaki@hotmail.com

コミュニティーカレッジ代表: Kimiyoshi Inomata 猪俣公克
City College of San Francisco
Email: kinomata@ccsf.edu

大学代表: Wakae Kambara 神原若枝
University of California, Berkeley
E-mail: wkambara@berkeley.edu





Northern California Japanese Teachers
Association

2014 Spring Conference Registration Form
DEADLINE: Thursday, April 17, 2014 (必着)

Please complete, make check payable to NCJTA and mail to:

Seiko Kosaka
% Ms. Nobuko Takamatsu
City College of San Francisco
50 Phelan Avenue A108, San Francisco, CA 94112

Name: _____
(英語) (漢字/カタカナ)

Email address: _____

School/Institution: _____

Please check the box(es) below.

☐ Lunch for members FREE
Circle ONE (Vegetarian OR Non-Vegetarian)

☐ Lunch for a non-members when accompanied by a member
Circle ONE (Vegetarian OR Non-Vegetarian) \$15.00
Name: _____

☐ 2014 Membership Fee (if NOT paid yet) \$15.00

☐ 2014 Membership Fee for Students (if NOT paid yet) \$5.00

*新規、住所変更等のある方は別紙「新会員登録用紙」もご同封下さい。...

Please check ONE.

I'm interested in attending the following workshop.

- ☐ Google 101 (Basic Google Apps)
☐ Technology Integration (Word, PowerPoint, & Youtube for Teaching)
☐ Blended Learning (Google Doc & Form, Flipped Learning & Other Apps)
☐ Undecided



会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。2014 年度分の会費は 2014 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日まで有効となっております。

年会費 一般\$15、学生\$5 Check payable to: NCJTA

Mail to: Seiko Kosaka

© Ms. Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco

50 Phelan Avenue A108

San Francisco, CA 94112

(新規・継続) どちらかにマルをつけてください。

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address:

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

1) 受理確認メール (要・不要) 2) 領収書 (要・不要) どちらかに○をつけてください。

.....き.....り.....と.....り.....線.....

住所變更/氏名變更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Seiko Kosaka

© Ms. Nobuko Takamatsu

City College of San Francisco

50 Phelan Avenue A108

San Francisco, CA 94112

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

新氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更（新しい情報だけご記入ください。）

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: Work:

Phone: Home: _____ Work: _____